

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	もりの木放課後デイサービス	公表日	年 月 日
------	---------------	-----	-------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		<input type="radio"/>	・必要に応じて近所にある公民館や市立体育館等を利用してスペースの確保をしており、自由遊びは公園や裏の砂場利用などを行っている	その日の活動や人数に応じて場所の設定を行い伸び伸びと過ごせるようにしているしていく
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		定数より多い職員を配置している	児童分野での経験や専門性を持った職員を配置するとともに、その日の通所児童の特性に応じた職員配置を継続していく
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		言葉の出ない子どもにはあいうえお表や手話で意志を伝えてもらうなど、大人になっても利用しやすい方法で伝える事ができるようにしている	室内は明るく段差のないバリアフリーとなっており、言葉の出ない子どもには随所にひらがな表を置くことでいつでも伝えやすい環境としていく
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		床はタイルカーペットを敷いて汚れたら洗えるようにしており、清潔に過ごせるようにしている。おもちゃや室内の掃除消毒も毎日行っている	今後も継続をしていく
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		相談室を使えるようになっている	区切られた空間ではあるが扉等はない為、扉やカーテンの設置を検討していく
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		職員会議や研修を通して業務の見直しを行い職員間で積極的に意見交換することで業務の改善に努めている	目標設定をし、毎月それに対して何が不足しているかを考え行動することをを行うようにしている
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		評価表により保護者様の意向を確認し、業務改善につなげるようにしている 職員全員で把握するようにしている	保護者様が把握できていないようなことは工夫してお知らせするようにしている
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		職員の意見は毎月のミーティングで話ができるようにしており、その中で出てきた内容については業務改善できるようにしている	意見等毎月のミーティングや毎日の帰りの会で話ができるようにしている
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	外部評価は受けていない	外部評価について検討中
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		毎月ミーティングの前に題目を決めて研修をしており、会社全体でも毎月1回研修をするようにしている 外部研修も受けていっている	今後も継続していく
適切	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		<input type="radio"/>	支援プログラムは作成しているがまだ公表されていない	ホームページの更新作業が完了次第、公表予定
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成しているか。	<input type="radio"/>		最低でも6か月に1回アセスメントを行い保護者様との面談により課題を分析したうえで計画書の作成を行っている	今後もアセスメントを適切に行うことで計画を立てていく
	13 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		子どもの支援について毎月職員間で共通理解ができるように話し合うようにしており、職員からでた意見を取り入れ計画を立てるようにしている	今後も職員全員で検討し共通理解の元支援ができるようにしていく
	14 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		計画が作成された時には職員全員が目を通すようにしている	計画に目を通し、職員全員が同じ意識を持って子どもに関わることができるようにしていく
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		標準化されたツールを確認しながら	
	16 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		本人・家族・移行・地域支援・地域連携を念頭に置き支援内容を設定しており、その子に応じた支援内容を設定するようにしている	計画作成時には職員全員が意見を出し合うことで支援内容を決め、具体的にどうしていくかを話し合う機会を持ちすすめていく

な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動プログラムに関しては立案が出され職員全員で共有をして進めている	みんなで立案をすることでいろんなアイデアが出していく
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		活動プログラムに関しては固定化しないようにいろんな分野の活動ができるようにしている	活動の固定化をしないように意識してプログラムを立案している
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	○		基本、毎日の前半は個別活動とし帰る前20分を集団活動の時間としている	毎日担当を決め集団活動の内容を決めていく
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		午前中又は前日に支援内容について確認を行い、役割分担をして行うようにしている	担当者以外は補助に回りみんなで支援をするようにしていく
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援について振り返りを行っている	気づいた点などに関しては話し、改善するようにしていく
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援に関しては業務日誌を毎日記録しており、支援の検証・改善につなげている	支援の内容について気が付いたことに関しては検証・改善をしていく
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6か月に1回はモニタリングをしている	モニタリングをすることでサービスの見直しの必要性や何が必要かを計画の見直しを行っていく
	24	【放デイのみ】放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	○		4つの基本活動を組み入れ、計画も立てられており複数組み合わせる支援を行うようにしている	常に4つの基本活動を組み入れる形で支援を行っていく
	25	【放デイのみ】こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		自己選択し、自己決定する場面と他者と合わせていく必要が有る支援の時間を設定している	今後も、いろんな場面で自己決定できるようにしていく
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		鍵には子どもの事をよく理解した者が参加し、職員全員に確認事項や子どものことに関して話し合いをしてから参加している	会議録については相談員にお願いをして聞き近いなどを防ぐようにしている
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		小学校へ入学などの時には、関わっているほとんどが参加して会議を行い、今後の連携等について話している	関係機関の連携を行っていく
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○	○	必要時には連携を取り助言等を受けることができるが、今までに助言等を受ける機会を設けていない	必要時には受けられるように連携を計っておく
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		他の子どもと公園で遊んだり、事業所を訪問してくれたりする関係づくりをしている	公園などで会う機会を利用して一緒に遊ぶ時間を作っている
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		子どもの状況でできなくなった時にはLINEを利用してすぐに対応をするようにしている	発達の状況や課題について共有できるように努めている
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		自立支援協議会のなかの子ども部会で行う研修などを情報提供している	保護者が参加できる研修や催しについては情報提供し参加していただけるようにしている
	32	【児発事業所・児発センターのみ】併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	33	【児発事業所・児発センターのみ】就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	34	【児発センターのみ】地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
35	【児発センターのみ】質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
36	【児発センターのみ】(自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
37	【放デイのみ】学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校のメールは見られるようになっており、必要時には電話にて確認をしたり連絡調整ができるようになっていく	自立支援協議会子ども部会を通じて学校の情報が見られるようにネットで情報が送られてきており、必要時の連絡調整は都度できるようになっている	

	38	【放デイのみ】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		利用開始時に会議をし、情報の共有を行い相互理解を計っている	情報を共有することで子どもへの理解を深め支援をスムーズにできるようにしていく
	39	【放デイのみ】学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		支援内容情報については相談員を通じて流してもらおうようにしている	今までの状況を理解してもらうことで理解を進め移行をしやすくしていく
	40	【放デイのみ】(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○		自立支援協議会のメンバーとなりこども部会で活動をしているが、全体で行う研修や行事にも参加している	支援者は協議会のメンバーとして参加し、子ども達も運動会など行事に参加している
保護者への説明等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		初回面談の時に資料を見ながら説明をしている	説明をし、書類に確認印をいただくようにしている
	42	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者や子どもの意見を聞きながら今ある課題をどうしていくか話をするようにしている	課題解決に向けてどうしていくか本人や保護者様の意向を確認し計画を立てていくようにしている
	43	「児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		計画書を見ながら説明をし、意見等を伺いながら計画書に同意を得るようにしている	計画書を確認のもと同意を得るようにしている
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		家族等からの子育ての悩みに関して相談に応じ、面談や電話・LINE等で助言等できるようにしている	家族等からの相談に応じ、事業所で判断できない場合には相談できる所へ紹介をするようにしている
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		事業所の行う催しの時に保護者同士の交流が持てるようにし、きょうだいも参加していただき交流する機会としている	保護者同士のつながり、きょうだいも参加して楽しい場となるようにしていく
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談や苦情に対してすぐに対応をしている	相談や苦情に対してすぐに対応することを継続していく
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		お便りは1か月に1回発行、ホームページは作成中。行事予定や活動概要に関しては別紙にてお渡しをしている	紙でのお便りなど見ていただけない場合もあり、LINE等でお知らせもするようにしている
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報については金庫にて保管しているお便りなどへの写真の使用など保護者様の同意を得るようにしている	個人情報が流出しないように十分に留意している
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		本人に分かりやすい伝え方を心がけている	いろんな情報を障害がある方も同じように受け取ることができるように今後も配慮していく
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		事業所の行事などに地域住民を招待することもあり、普段の遊びなどにも地域の子どもの参加を呼びかけ一緒に遊ぶ事もよくある	地域の行事にも参加したいと思いをかけているが、あまり行事等行ってないのか呼びかけがない
	51	【放デイのみ】家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		家族等からの相談に応じ対応をしている他機関に相談した方がいい事についてはご紹介をするようにしている	今後も継続をしていく
非常時等の対応	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルについては初回利用時に配布し変更があればお渡しをしている訓練としては緊急時対応、感染症対応を行っている	今後、他のマニュアルについても訓練をおこなっていく
	53	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		非常災害の発生に備え、年に3回訓練を行っている	今後も継続をしていく
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		初回面談の時に確認をし、注意事項や病院などを聞いており対応できるようにしている	変更のあった場合には速やかに連絡をいただくようになっている
	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		初回面談の時に確認をし、注意事項や病院などを聞いており対応できるようにしている	変更のあった場合には速やかに連絡をいただくようになっている
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全管理に必要な研修や訓練を行い、安全管理が十分された中で支援を行っている	今後も継続をしていく
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		計画書にも書かれており、口頭でも説明をしている	連絡先や内容について変更があった場合には早急に連絡をしていく
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットは職員全員で共有し再発防止に向けて取り組んでいる	今後も継続をしていく

59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待についての研修を行い、虐待の内容を知り今やっていることが虐待でないかを意識できるようにしている	今後も継続をしていく
60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		施設の目の前に道路や川があることから、職員が即座に制止することがむずかしい状況が起こりえることもあり、保護者様・こどもの了解のもと出入口を施錠している 計画書にも施錠について記載している	今後状況により、開放できるように取り組んでいく